

令和 5 年度 森林動物研究センターシンポジウム

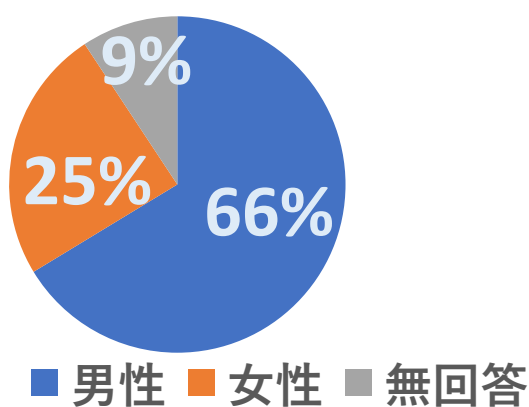
— 開催報告 — (2024.2.17)

1) 受付人数 377名 (兵庫県内 101 名)

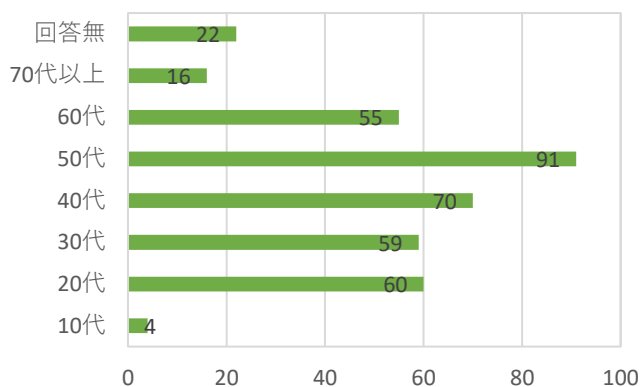
当日の最大視聴者は 246 人です。

2) 申込詳細

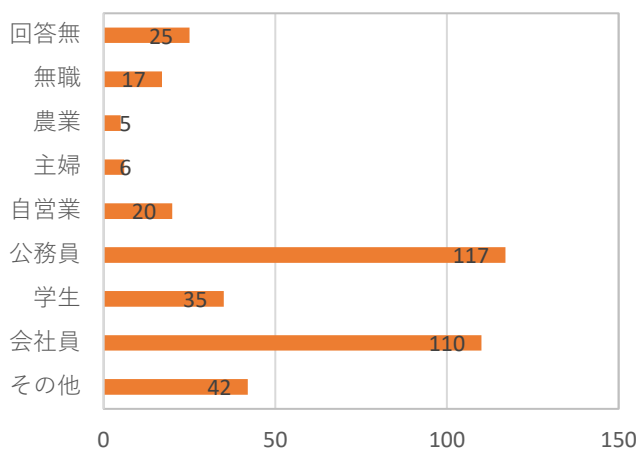
性別



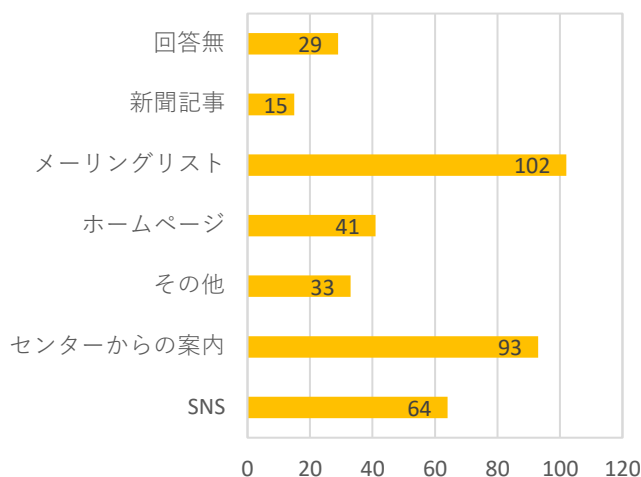
年齢構成



お仕事



シンポジウムをどのように知りましたか

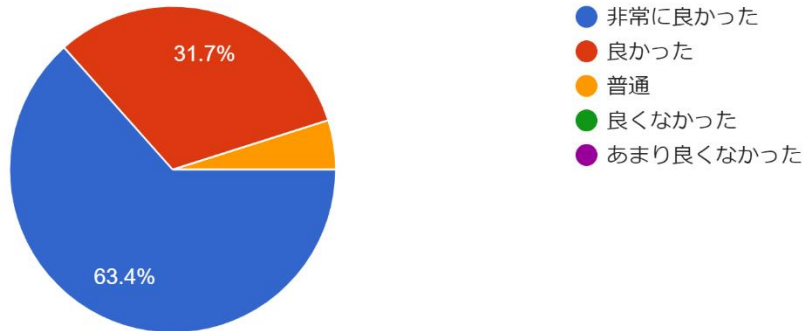


3) アンケートについて

2月26日まで受け付け、41名の回答をいただきました。(兵庫県内9名)

シンポジウムの全体評価

41件の回答



研究発表へのコメント（抜粋）

① 市街地に迫るツキノワグマたち

- 兵庫県内のクマの活動について、「人の生活圏の利用」と「分布域拡大」の点から俯瞰的に捉えることができました。出没はなくても、出没予備軍が存在する、ということに対しては、農山村で暮らす人間が常に危機管理意識を持っていないと、改めて認識しました。
- クマが長い時間市街地の近くを利用していることに驚きました。一方で、利用しているのにも関わらず、出没情報があがらない理由が気になりました。

② バイオロギング・カメラが捉えたクマの行動

- 面白かった。データは細かいが、短期間の記録なので、どう活かすか、活かせるかはこれからの課題かもしれないと思った。
- クマの食性や行動を理解するのに非常に重要な研究成果であり、生息地管理を進める上で貴重な情報だと思った。全国的にも非常に貴重な研究事例であるので、今後も継続して情報を提供していただきたい。

③ 餌資源からツキノワグマの出没を紐解くー構図・機序・課題

- 標高によって豊凶に差が出ているのは今後のクマの動向を考察するうえで大事な要素だと感じた。
- 非常に興味深かった。ドングリ類の豊凶と有害捕獲数が出没と関係があるという事が大変興味深かった。2006年よりも出没情報数が多い2016年は大量出没に当たらないのは何か判断基準があるのでしょうか

④ ツキノワグマの分布拡大と府県連携の取り組み

- おそらく広域連携にもっていくまで相当な苦勞があったと思います。科学的な研究を継続してデータをとり続けていたことは理解を進める上で重要だったのかなと思います。
- 拝聴させて頂き有難うございました。オスとメスの捕獲状況を整理した目撃分布と生息分布拡大の考察興味深かったです。また広域的な視点を地域に応じた視点でクマの動態変化を考察することは、これから指定管理鳥獣に指定されるクマの管理で特に重要だと改めて認識しました。

⑤ 兵庫県のツキノワグマにおける行政施策と順応的管理

- 鳥獣被害は「自然災害」である。自身も常々そのように考えています！災害故、日頃からの備えが必須であり、行政と地域の方々との連携が不可欠です。そのためには、鳥獣災害は、公共事業として新たな組織体制や予算措置が急務と思料します。素晴らしい御講演を有難うございました。
- 柿の木伐採の効果が可視化されていて参考になりました。防除対策の効果検証として、あのように経年でマップ化してくれるとわかりやすかったです。そして、現地住民の方々との合意形成の難しさがひしひしと伝わってきました。

⑥ 科学的根拠にもとづくクマ類の管理

- 兵庫県のクマの増加率 16%は、環境収容力に達していない事の表れなのか、今後一定数まで増えたらその後横ばいとなることが予想されるのかが気になりました。(人間と他のクマ位しか)天敵のいないクマは繁殖率・生育率は低いと思っていたのでこのスピードで増えている事に驚きました。
- 管理数目標の設定は、生態学レベルと社会的レベルがあるとされましたが、生態学レベルでも、知床の例について横山部長が言及されたように難しいと思います。それでも社会的レベルを考慮しながら、絶滅に向かわない最低限の生態学レベルの管理は行わねばならないと感じました。

4) シンポジウムで今後取り上げて欲しいテーマ

- 来年度はおそらく指定管理鳥獣に指定された初年度になるので、支援事業となった時の狩猟圧の変化や、ゾーニング管理における国の支援事業の例など、地域が施策として参考にできる情報などあればいいなと思います。
- アライグマが他の在来中型食肉獣に与える影響と競合の実際。
- 後半のクロストークのような形式は、内容がどんどん膨らんで深くなっていき大変興味深いです。今後も是非行っていただきたいと思います。
- 野生動物(今回のクマを含む)における広域管理の取り組みの現状と課題の詳細

5) その他、ご意見ご感想

- 毎回、楽しみに聞かせていただいています。今年度はクマの被害で大騒ぎの年になってしまいましたが、そのことに問題意識をもった一般の方が、このような機会を通じて、感情論や感覚ではなく、これまでの試行錯誤も含めた兵庫県の取り組みの積み重ねや科学的に裏打ちされた解説に接し、理解を深めてくだされば良いなあと思っています。皆さま、大変お疲れ様でした。
- 当日参加出来なくなってしまいましたが、配信で見る事ができて大変ありがたいです。最後のお話の中での「ケア」という概念とても良いと思いました。ありがとうございました。